

理科教育 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	授業者が、生徒が失敗しにくい実験を目指して	
日時	令和 3年 2月 3日(木)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	青野 裕幸 氏 (肩書:千歳市立北斗中学校 教諭)	
参加者	16名	
研修会 の様子		北広島市立緑陽中学校を会場として、参加者が集合する形で実技研修会を行う予定でした。しかし、感染症の急拡大により、集合することは適切ではないと考え、予定していた実験・観察に必要な材料を配付しました。 配付物を紹介しますと… ・生物(食物連鎖)の授業に活かせる「フクロウのペレット」 ・地学(気象)の授業に活かせる「前線モデル制作セット」 ・化学(結晶構造)の授業に活かせる「岩塩」とイオンの学習に活かせる「銀樹制作セット」 ・物理(磁界)の授業に活かせる「クリップモータ制作セット」 など、多岐にわたりました。
		上記しているテーマにある通り、授業者として子どもに演示するとき、また、子どもたち一人一人が実験を行うときに、「失敗しにくいコツ」を一つ一つ提示し、また、教科書には理論として記載されているだけで、「本当にそうなのだろうか？」と疑問に思う子どもの心をくすぐるような実験・観察を紹介する予定でした。 後日、オンラインで参加者と役員会をつなぎ、配付したものをを使った研修会を行う予定となっています。 また、これを機に石狩管内の、または各市町村における先生方の「横のつながり」を感じとっていただき、「気軽に他校の先生とオンラインでやりとりできる」雰囲気を作っていけたらと考えています。